

赤外線サーモグラフィ部門合同ミニシンポジウム

このたび、日本非破壊検査協会赤外線サーモグラフィ部門、電気学会テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会、日本材料学会破壊力学部門委員会非破壊検査小委員会が共同し、合同ミニシンポジウムを開催することになりました。構造物の内部断層を調査だけでなく、内部変状物質の同定も可能となるテラヘルツ波、文化財、火力発電用タービン翼、石油備蓄タンク、送電鉄塔、各種コンクリート構造物でのテラヘルツ計測技術の適用状況を具体的に解説いただきます。テキストとして使用する技術報告書「テラヘルツ技術の進展と非破壊検査技術」（一般価格 ¥6,415）は、参加費に含まれていますので、より有益なシンポジウムとなっております。また、昨年制定されたばかりの IS09869-2 現場における建築部位の断熱性能の測定方法（赤外線カメラによる熱画像法）の技術解説や散逸エネルギーを利用した最新の非破壊検査研究、橋梁コンクリート損傷個所の評価に関する研究、金属材料に対する偏光理論を用いた欠陥と背景反射の識別研究など大変興味深い発表がございます。多くの皆様のご出席をお待ちしております。オープンシンポジウムですので、会員以外のご関連の方々にもご案内頂ければ幸いに存じます。

主催: 一般社団法人 日本非破壊検査協会 赤外線サーモグラフィ部門
共催: 一般社団法人 電気学会 テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会
 公益社団法人 日本材料学会 破壊力学部門委員会非破壊検査小委員会
 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター本部

期 日: 平成 31 年 3 月 5 日 (火) 10:00~17:00
 ※受付開始: 9:30~

注) 講演順や題目など都合により変更になる場合がございます。変更があった場合は、お申込みいただいた方にメールにてご案内させていただきますのでご了承ください。

会 場: 東京都立産業技術研究センター本部 (〒135-0064 東京都江東区青海 2 丁目 4-10)

参加費:

*参加費は、当日受付にてお支払い下さい。

赤外線サーモグラフィ部門登録団体会員・個人会員	4,000円	1. テラヘルツ技術の進展と 非破壊検査技術報告書 1冊 2. 論文集 1冊
日本非破壊検査協会正会員		
共催団体会員		
非会員	6,000円	

定 員: 100名 (先着順)

申込方法: 参加申込については、部門ホームページ(<http://www.jsndi.jp/sciences/section/index8-3.html>)の参加受付から参加申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上下記宛先までお送りください。

申 込 先: 日本非破壊検査協会 学術課 中村宛メール申し込み E-mail: nakamura@jsndi.or.jp
 TEL(03)5609-4015 FAX(03)5609-4061

時間	内容	講演者
10:00~10:20	赤外線サーモグラフィによる各種材料に対する疲労限度線図の推定	(株) 荏原製作所 早房 敬祐
10:20~10:40	散逸エネルギー計測に基づく各種金属材料における疲労強度推定	神戸大学 塩澤 大輝
10:40~11:00	金属材料に対する偏光理論を用いた欠陥と背景反射の識別	防衛大学校 鈴木 総司
11:00~11:20	赤外線サーモグラフィ法による橋梁コンクリート損傷抽出箇所の劣化特性とリスク評価に関する一考察	西日本高速道路エンジニアリング四国 (株) 佃 大貴
11:20~12:00	IS09869-2 現場における建築部位の断熱性能の測定方法(赤外線カメラによる熱画像法)解説	一般財団法人 建材試験センター 萩原 伸治
12:00~13:00	昼食休憩	
13:00~16:30	1. テラヘルツ波の非破壊検査応用への期待 2. テラヘルツ計測システム 3. THz帯時間領域イメージングの文化財科学への普及 4. テラヘルツ電磁波計測による石油タンク底部の非破壊評価 5. テラヘルツスペクトルの解析 6. レーザーカオス光を用いたTHz波発生	電力中央研究所 布施 則一 パイオニア(株) 小笠原 昌和 情報通信研究機構 福永 香 神戸大学 阪上 隆英 理化学研究所 保科 宏道 福井工業大学 栗島 史欣

*講演中のカメラやスマートフォン等による撮影は原則禁止としております。
 撮影される場合は、事前に登壇者の了承を得た上で、登壇前に座長へ申し出るようお願いいたします。